

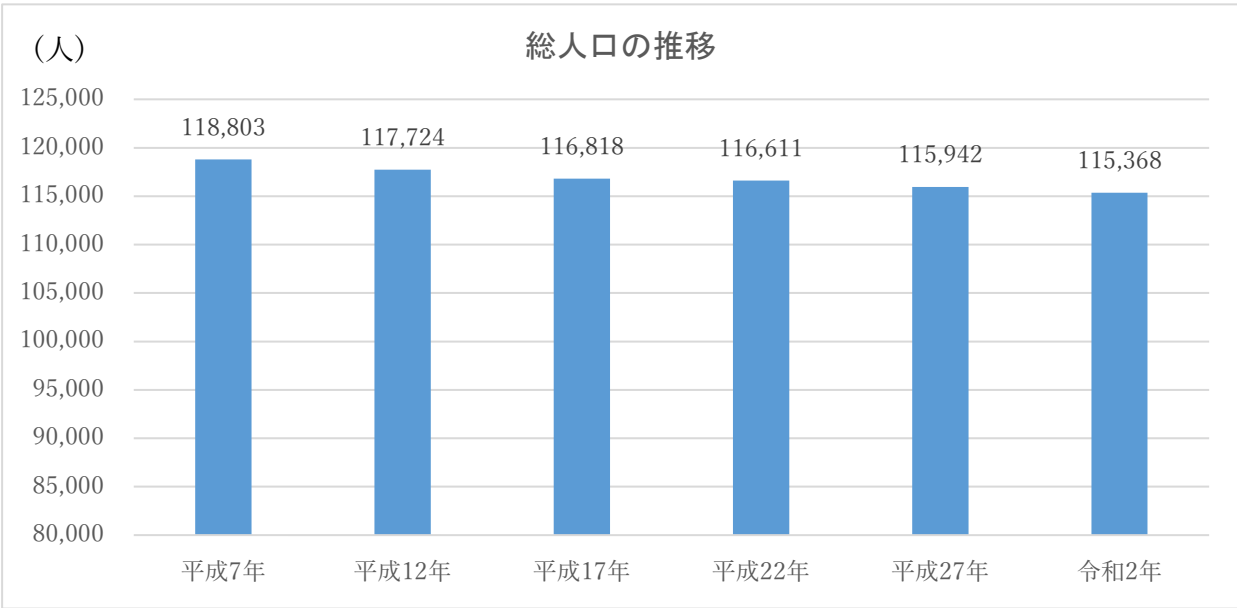
第2章 統計からみた市民の現状

第2章 統計からみた市民の現状

1 人口の状況

(1) 人口

本市の総人口は、緩やかに減少しています。



資料：国勢調査、令和2年は住民基本台帳

※令和2年は3月末時点

(2) 年齢3区分人口

本市の年齢3区分人口は、平成7年から平成27年までの間で、年少人口（0～14歳）が3.1ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）が9.2ポイント減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は12ポイント増加しています。

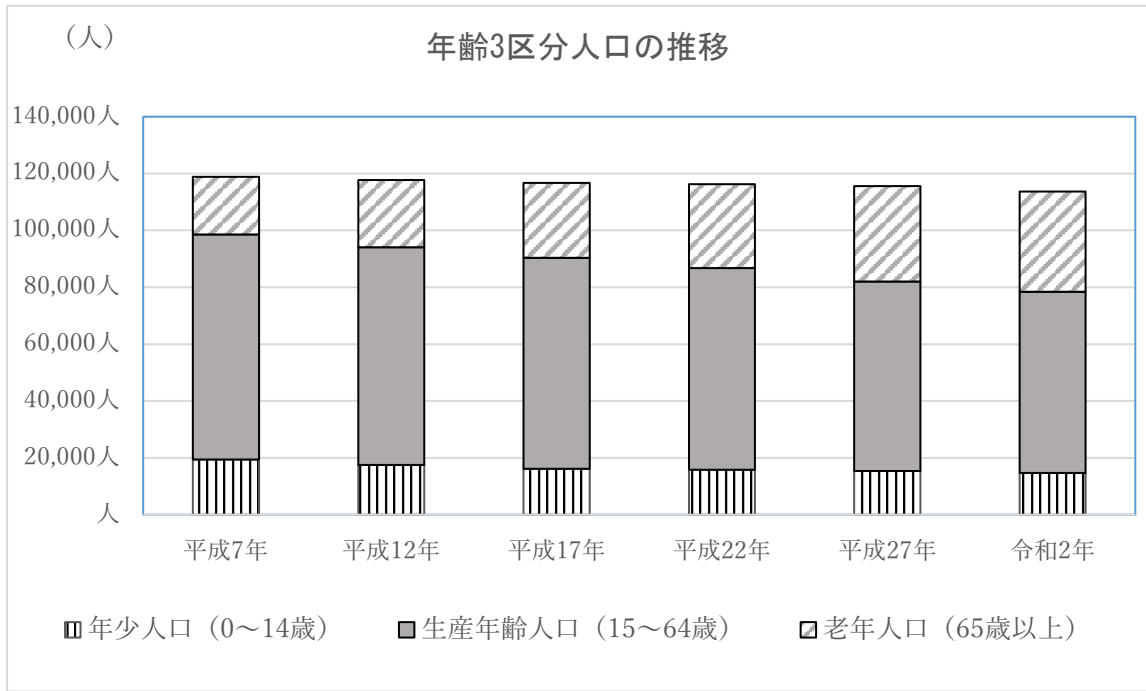
令和2年度においても、年少人口及び生産年齢人口は減少、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化は進行しています。

年齢3区分人口の推移

区分 \ 年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	118,803人	117,724人	116,818人	116,611人	115,942人	113,659人
年少人口 (0～14歳)	19,408人	17,545人	16,144人	15,771人	15,331人	14,678人
割合	16.3%	14.9%	13.8%	13.5%	13.2%	12.9%
生産年齢人口 (15～64歳)	79,178人	76,568人	74,202人	71,042人	66,700人	63,741人
割合	66.7%	65.0%	63.6%	61.1%	57.5%	56.1%
老年人口 (65歳以上)	20,217人	23,610人	26,387人	29,506人	33,582人	35,240人
割合	17.0%	20.1%	22.6%	25.4%	29.0%	31.0%

※総人口は、年齢不詳を含むため合計は必ずしも一致しない。

資料：国勢調査、令和2年は防府市人口ビジョン



2 出生の状況

本市の出生数は、平成7年に1,036人でしたが、令和元年では877人と減少しています。

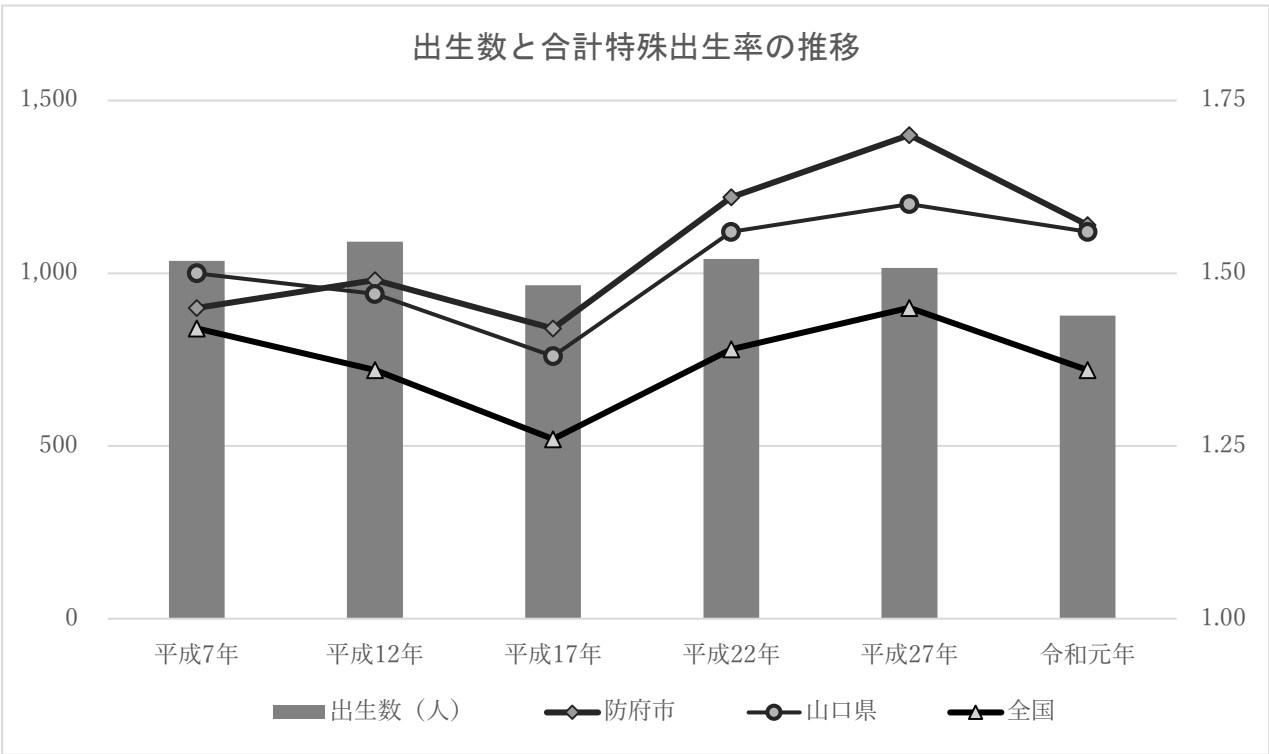
合計特殊出生率*は、令和元年は1.57で全国平均と山口県平均を上回っていますが、現在の人口を維持するのに必要とされる2.07を大きく下回っています。

出生数と合計特殊出生率の推移

		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
出生数（人）		1,036	1,091	965	1,041	1,015	877
合計特殊出生率	防府市	1.45	1.49	1.42	1.61	1.70	1.57
	山口県	1.50	1.47	1.38	1.56	1.60	1.56
	全 国	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.36

資料：出生数は住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

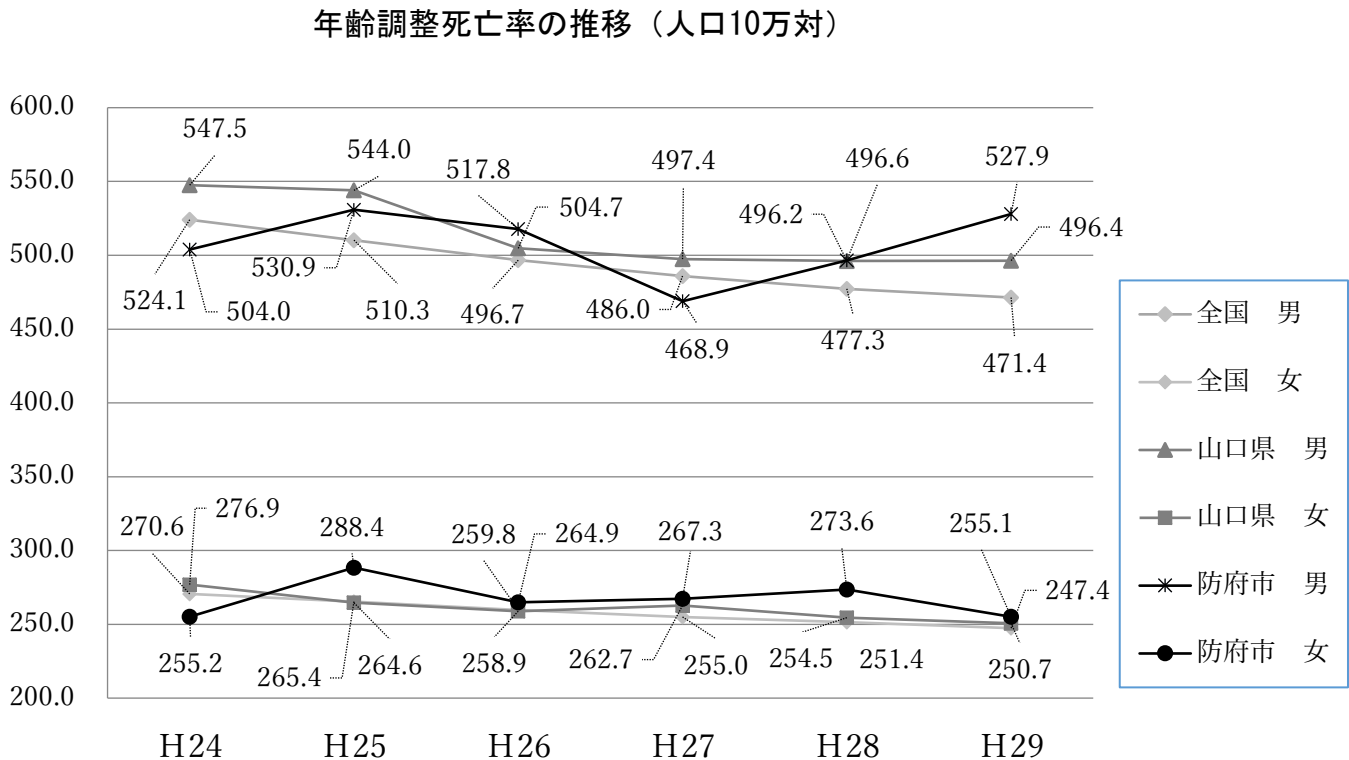
合計特殊出生率は、防府市は国勢調査、市町年齢別推計人口（山口県）、人口動態調査から算出
全国、山口県は人口動態調査



3 死亡の状況

(1) 年齢調整死亡率*の推移(人口10万対)

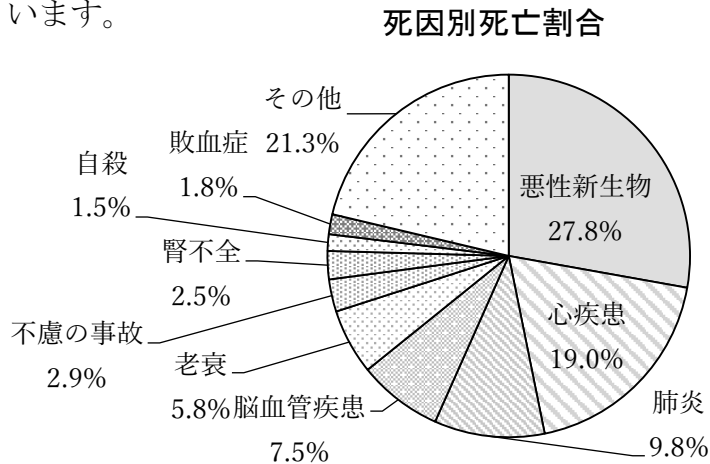
本市の年齢調整死亡率は、全国・山口県とほぼ同率で推移しています。



資料： 全国は e-Stat 政府統計の総合窓口
山口県、防府市はやまぐち健康マップ

(2) 死因別死亡割合

本市の死因第1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は肺炎となっています。三大生活習慣病（悪性新生物・心疾患・脳血管疾患）が50%強を占めています。



資料：平成30年山口県保健統計年報